

復旧・復興を最優先に
「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市」へ

白石市長
風間 康 静

新 年明けましておめでとう
ございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

現在、本市は東日本大震災からの復旧・復興の真っただ中にあり、福島第一原子力発電所事故による放射能汚染や風評被害などの課題が山積しております。このような状況の中で、一日でも早く市民の皆さまの安心・安全を取り戻し、復旧から復興へシフトさせるためにも、今後4年間の舵取り役としての責任の重さを痛感しております。

復旧状況としては、市道の傷跡が目立つものの、本市のシンボルである白石城など公共施設の復旧がほぼ完了し、着実に震災前の姿を取り戻してきております。復旧が進むにつれ復興も感じられるようになり、昨年10月の「鬼小十郎まつり」には、白石城の復旧を心待ちにしていた多くの人々が訪れ、過去最高の9千人の人数で賑わいました。

放射能対策では、子どもたちの健康を最優先に考え、「白石市除染実施計画」に基づき、保育園や幼稚園、小中学校などの「子ども空間」の放射線量を低減させることができ、外で元気な子どもたちの姿を見かけることが多くなりました。また、食

に対する不安解消も重要な課題であることから、水田土壌に蓄積した放射性セシウムの吸収抑制剤として効果を発揮する「塩化カリウム肥料」を、水稲作付け農家全戸に無償配布。全戸において散布した結果、厳しい検査をクリアし、昨年10月に米の安全宣言を発表することができました。

さらに、復興を後押しするかのよう相次いで企業進出が決まり、雇用拡大による定住人口の増加が期待されます。この波にうまく乗って、関係機関と協力しながら、引き続きさまざまな機会をとらえトップセールスを行い、さらなる雇用と交流人口の拡大を図っていくことが、本市が目指している「交流拠点都市」への大きな一歩になると考えております。

これからも、復旧・復興を最優先に、市政運営の基本理念である「共汗・共学・共生」のもと、市の発展のため、市民の皆さまの笑顔のために、第五次白石市総合計画で掲げる「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」に全力で取り組んでまいります。

結びに、この一年が皆さまにとって、明るく幸せな年となりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

市民の皆さまの代表として
さらに期待に応えられる議会を目指します

白石市議会議長
保科 惣一郎

市 民の皆さま、明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

東日本大震災から間もなく2年。本市においても、復興に向けて「白石市東日本大震災復興計画」を策定し、さまざまな事業に取り組みしておりますが、完全な復興に至るまでにはまだまだ時間を要するものと思われま

す。また、福島第一原子力発電所事故による放射能汚染や風評被害が、商工業・農林業・観光業などに大きな影響を及ぼしております。

このような中で、国基準の除染対象施設はもとより、市独自除染の対象となった保育園や幼稚園、小中学校まで除染が終了したこと、また、検査の結果、白石市産米は安全性が立証され、全域で出荷可能となったことは復興への明るい兆しであると感じております。

市議会においても、東京電力に補償を求める要望書を提出し、要望への説明を求めるなどの活動を行ってまいりました。今後も議員一丸となって市民生活の安全のために活動していきたいと考えております。

3年目を迎える第五次白石市総合計画の大きな柱である「人・

暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」を進める中で、安定的な暮らしや雇用創出、交流・定住・移住という視点から考えた時に、昨年一番大きな成果は、企業誘致に成功し、白石インター工業団地への誘致がすべて完了したことだと思います。今後の雇用創出・確保、地域経済の活性化につながるものと期待しております。

また、市民の皆さまの安定的な暮らしのために、安心して子どもを生み育て、心やすらかに暮らせるまちを目指し、子ども医療費の通院助成対象が就学前から小学6年生まで拡充するなど、子育て支援についても充実しつつあります。

そして、市議会も市民の皆さまの代表として、議会本来の役割や機能を果たすべく議会改革検討委員会を立ち上げ、これまでに以上に市民の皆さまに分かりやすく、期待に応えられる議会を目指して検討を進めているところです。市民の皆さまにおかれましては、今後とも格別なご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年も、皆さまにとりまして幸多き年でありませう、議員一同ご祈念申し上げます、年頭のごあいさついたします。

For Everyone's Smile



「市民の皆さまの笑顔のために」と思いを新たにする風間市長(中央右)と保科議長(中央左)
(平成24年11月28日、東保育園の園児と一緒に撮影)